



ふくだ
Fukuda

滑川町立福田小学校 学校だより

冬休み号 令和 5年12月22日

電話 0493-56-2651 FAX 0493-56-2643

校長 上野 修

「キャッチボール、5つの心構え」

おもいやり算 ～人を笑顔にする算数～

- ＋ 「たす」けあうと大きな力に
- － 「ひき」うけると喜びが生まれる
- × 声を「かけ」ると一つになれる
- ÷ いた「わる」と笑顔がふえる

ピンチに強い	メンタル	雰囲気 に流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h
速をつくらない	勝利への執念	仲間を 思いやる心	人間性	運	変化球
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	節度そうじ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんへの態度
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む

「大谷翔平選手が1,014億円でロスアンゼルス・ドジャーズへ移籍！」という報道がありました。すごいですね。「大谷選手から全国の小学校にグローブのプレゼント」というニュースもありました。楽しみです。グローブが届いたら私も皆さん一人一人とキャッチボールしてみたいなあ・・・と今からワクワクしています。

ところで、12月11日（月）のNHKラジオ番組「関西ラジオワイド」に甲子園塾塾長の山下智茂さんが出演していました。山下さんは、石川県星陵高校野球部名誉監督であり、高校野球史上最高の試合といわれる 箕島対星稜延長18回（1979年）など記録にも記憶にも残る数多くの名試合を指揮した監督です。

山下さんは、「キャッチボール、5つの心構え」というお話をしていました。キャッチボールで大切なことは以下の5つだということです。

- 1 思いやり 相手の胸元へ、相手を取りやすいボールを投げる
- 2 ルール 暴投したら自分でボールを取りに行く。
- 3 マナー 暴投したら「ごめんなさい」
- 4 危険認識 油断したら怪我をする。
- 5 リスペクト いいボールが来たら「OK！ナイスボール」

山下さんは、「キャッチボールがうまくできれば、人生もうまくなりますよ」と語っていました。「キャッチボールは人生に通じる」ということでしょうか。このことについて考えてみました。

「思いやり」は、思い遣りです。心を相手にあげることです。他人の気持ちを理解し、その人の立場や状況に配慮する心の持ち方のことです。「ルール」は、守らなければならない規則や決まりごとのことです。そのため、ルールを破るとなんらかのペナルティーを受けることになります。「マナー」は、守ったほうが良い節度ある態度・礼儀作法のことを意味しています。「リスペクト」は、他人やその行為、成果に対する敬意や尊敬といった意味があります。それぞれの言葉の意味を考えるといずれも人と人がよい関係をつくるためにとても大切なことだと分かりますね。

では、「危険認識」はどうでしょう。一見他の4つとは異質のようにも思えますが、例えば、「ルールを無視すれば、危険にさらされる」「相手を見下して思いやりやリスペクトを欠けば、自分の身が危くなる」といったことが考えられます。「危険認識」もやはり人間関係にとって大切なものです。

以前、大谷翔平選手の曼荼羅チャートを紹介したことがありましたね。大きな目標を達成するために、「人間性」や「運」についても行動目標を設定し、有名選手になった今でも実践し続けています。「キャッチボールは人生に通じる」・・・本当にそう思います。